2018 年度 第 10 回 治験審査委員会 議事録 (HP)

	開催日	2019年1月7日(月) 16:05~17:	10		会場		B棟2階 研修支援センター1			
議長	寺島 康博	議長(治験審査委員会委員長)が担当の治験	の議題	1 : 副委	員長が議	長、副委員	員長不在時 : 治験事務局長が司会			
		治験責任医師、治験分担医師はその	関与する	る治験に関	する事項の	審議及び	が採決には参加できない。			
		治験審査委員会 委員(職業、所属	禹) 【	出席:○、	欠席:	×]				
		医師 (4名)				事務局	員(2名)			
0	寺島 康博	糖尿病内分泌内科 (委員長)	0	野村	敏夫	事務局員				
0	志水 英明	腎臓内科 (副委員長)	0	松井	敏之	事務局員				
0	長﨑 宏則	麻酔科	看護師(1名)							
×	笠井 大嗣	呼吸器内科	×	都築	智美	看護部				
		専門外(2名)			薬剤師	(1名)	、薬剤事務員(1名)			
0	大井 久司	会社員、大同特殊鋼株式会社	0	田中	章郎	薬剤部				
×	太田 成	弁護士、弁護士法人 後藤·太田·立岡法律事務所	0	須本	倫史	薬剤部	事務員			
	SMO 治験事務局支援業務担当者(担当案件のみ参加、審議には参加していない。)									
厚	厚生労働省の規定する GCP 上、当院の治験審査委員会の決議を行うためには最低 6 名の出席が必要となります。 なお、代理出席は認められていません。									

IRBの開催予定日、および、書類提出期限							
開催日		書類提出期限(到着日)	開催場所				
2019年2月4日(月曜日)	16:00~	2019年1月21日(月曜日)	研修支援センター1				
2019年3月4日(月曜日)	16:00~	2019年2月18日(月曜日)	研修支援センター1				
2019年4月8日(月曜日)	16:00~	2019年3月25日(月曜日)	研修支援センター1				



HP		審議時間:3分				審	義結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	軽度アルツハイ	マー型認知症			
			LY3314814、AV-45、					
	∠		AV-1451、	治験依頼者	日本イーライリリー株式会社			
ДХ	成分記号、一般名称、製品名		AV-45 synthesizer、	/口前央1133共1日	日本1ーブイリリー株式芸在			
			AV-1451 synthesizer					
公開	顆兒	日本イーライリリー株式	会社の依頼によるアルツハイマー型認知	症を対象とした L	Y3314814の第Ⅲ相試験	PRT No.	I8D-MC	C-AZET
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	晒された。				
治験終	冬了 (中	止·中断)報告(書式:	17)					
治験結果の概略等についての報告に基づき、特に問題がないことを確認した上で、終了することについて報告を受けた。								

	CL	審議時間:3分				審	議結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	潰瘍性大腸炎				
成	分記号、	一般名称、製品名	AJM300	治験依頼者	EA ファーマ株式会社			
公開				床試験(2)		PRT No.	AJM300	D/CT3
議事内容 今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								
治験に	関する変	変更申請(書式 10)						
今回韓	とと された こうしょう しょうしょ しょうしょ しょう しょう しょう しょう しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	内容について、治験の継	続には問題ないと評価された。					
安全性情報等(書式 16)								
有害	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審	議結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	活動性関節リ	カマチ			
成	分記号、	一般名称、製品名	ASP015K	治験依頼者	アステラス製薬株式会社			
公開語	顆名	リウマチ患者を対象とした	c ASP015K 継続投与試験			PRT No.	015K-C	CL-RAJ2
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	いて、治験の継続には問題ないと評価された。				
治験に	関する変	変更申請(書式 10)						
今回韓	告された	内容について、治験の継	続には問題ないと評価された。					
安全性	全全性情報等(書式 16)							
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審	義結果	承認	
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	腎性貧血					
成	成分記号、一般名称、製品名 ASP1517 治験依頼者 アステラス製薬株式会社								
公開設	題名	アステラス製薬依頼の腎	性貧血(保存期)を対象とする ASP	生貧血(保存期)を対象とする ASP1517 の第Ⅲ相比較試験 PRT No. 1517-CL-0310					
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	适れた。					
安全性	安全性情報等(書式 16)								
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。								

								1
	CL	審議時間:3分					審議結果	承認
開発の	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	心不全				
成分	分記号、	一般名称、製品名	ダパグリフロジン	治験依頼者	アストラゼネカ株式会社			
公開課	題名	心不全患者におけるダノ	《グリフロジンの効果を検討する第 III 柞	試験		PRT No	D1699	9C00001
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	治験の継続には問題ないと評価された。				
治験に	関する変	変申請(書式 10)						
今回報	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー							
安全性	情報等	報等(書式 16)						
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:5分				審	義結果	承認
開発	の相	Phase II	対象疾患名(PhaseⅢの場合)					
成	成分記号、一般名称、製品名 E6007 治験依頼者 EA ファーマ株式会社							
公開記	田町力	中等症の日本人活動棋	明潰瘍性大腸炎患者を対象とした E6007 の臨床第2相,プラセボ対照二重盲検並			PRT No.	E6007	·J081-201
公用語	和思白	選名 行群間比較試験			PKI NO.	E0007-	JU01-2U1	
議事	内容	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。						
安全性情報等(書式 16)								

有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。

重篤な有害事象(当院の被験者) (書式 12,13,14,15)

重篤な有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。

HP		審議時間:3分				審	義結果	承認	
開発	開発の相 Phase III 対象疾患名(Phase III の場合) 顕微鏡的多発血管炎								
成	分記号、	一般名称、製品名	GGS	治験依頼者	帝人ファーマ株式会社				
公開語	間課題名 GGSのMPAを対象とした第Ⅲ相試験				PRT No.	GGS-M	PA-002		
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	适れた。					
治験に関する変更申請(書式 10)									
今回軒	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

	CL	審議時間:3分				審	義結果	承認		
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	がん疼痛						
成	分記号、	一般名称、製品名	HP-3150	治験依頼者	久光製薬					
公開設	題名	がん疼痛患者を対象とし	た HP-3150 の第Ⅲ相試験	50 の第Ⅲ相試験 PRT No. HP-3150-JP-06						
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	适れた。						
安全性情報等(書式 16)										
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。									

HP		審議時間:3分				審	義結果	承認		
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	がん疼痛						
成分記号、一般名称、製品名 HP-3150 治験依頼者 久光製薬										
公開設	題名	がん疼痛患者を対象とし	た HP-3150 の第Ⅲ相試験	験 PRT No. HP-3150-JP-06						
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	話れた。						
安全性情報等(書式 16)										
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。									

	CL	審議時間:3分				審	義結果	承認	
開発	の相	Phase	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	活動性関節リウマチ					
成	分記号、一般名称、製品名 BMS-188667SC 治験依頼者 ブリストル・マイヤーズ株式会社								
公開記	顆組	ブリストル・マイヤーズ株	式会社の依頼による関節リウマチ患者を	対象とした第Ⅲ	目試験	PRT No.	IM1015	50	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	适れた。					
安全性	安全性情報等(書式 16)								
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。								

	CL	審議時間:5分		審	義結果	承認			
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	合)					
成分記号、一般名称、製品名 BMS-188667SC 治験依頼者 ブリストル・マイヤーズ株式会社									
公開記	親 名		- 次性シェーグレン症候群患者を対象としたアバタセプト皮下投与の有効性及び安全 シダム化二重盲検プラセボ対照試験				IM1016	503	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	話れた。			•		
安全性	安全性情報等(書式 16)								
≠ ⇔=		にせべきコナジェンドウナジ	また-ナスストの式(V/M-1/2の)、大字(デナイン	・・ングをみるがかます	-/				

有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。

重篤な有害事象(当院の被験者)(書式 12,13,14,15)

重篤な有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。

報告事項

本案件に関する報告事項について、治験の継続には問題ないと評価された。

	CL	審議時間:3分						承認	
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	関節リウマチ	iJウマチ				
成	成分記号、一般名称、製品名 ABT-494 治験依頼者 アッヴィ合同会社								
公開記	無題名	メトトレキサート (MTX) の使用経験のない中等症から重症の活動性関節リウマチ患者における ABT-494 の1日1回投与による単独療法と MTX 単独療法との第 III 相無作為化二重盲検比較試験 PRT No. M13-545						15	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	話れた。					
安全性	情報等	(書式 16)							
有害事	多報告(に基づき引き続き治験を写	『施することの妥当性について審議を行	い、治験の継続は	には問題ないと評価された。				

	CL	審議時間:3分								
開発	開発の相 Phase 対象疾患名(Phase III の場合) 関節症性乾癬									
成	成分記号、一般名称、製品名 ABT-494 治験依頼者 アッヴィ合同会社									
公開記	題名	題名 関節症性乾癬患者を対象とした ABT-494 の第Ⅲ相試験 PRT No. M15-554						- 54		
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	話れた。						
安全性	安全性情報等(書式 16)									
有害事	家報告(に基づき引き続き治験を乳		い、治験の継続は	は問題ないと評価された。					

	CL	審議時間:3分							
開発	の相	PhaseⅡ/Ⅲ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)) 強直性 脊椎 炎					
成	成分記号、一般名称、製品名 ABT-494 治験依頼者 アッヴィ合同会社								
公開記	顆兒	活動性強直性脊椎炎	活動性強直性脊椎炎患者における Upadacitinib の第 II b/III相試験 PRT No. M16-098						
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	話れた。					
安全性	安全性情報等(書式 16)								
有害事	家報告(こ基づき引き続き治験を到	実施することの妥当性について審議を行	い、治験の継続は	には問題ないと評価された。				

	CL	審議時間:5分							
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	クロストリジウム	クロストリジウム・ディフィシルワクチン				
成	分記号、	一般名称、製品名	PF-06425090	治験依頼者	ファイザー株式会社				
公開語	顆組	8 ファイザー株式会社の依頼による 50 歳以上の成人を対象とする PF-06425090 の第 3 相試験 PRT No. B5091007						007	
議事	内容	今回報告された内容に	れた内容について、治験の継続には問題ないと評価された。						
治験に	関する変	変更申請(書式 10)							
今回朝	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								
安全性	安全性情報等(書式 16)								

有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。 **重篤な有害事象(当院の被験者)(書式 12,13,14,15)**

重篤な有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。

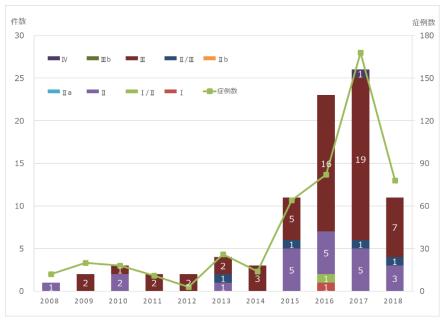
HP		審議時間:3分				審議結果		承認	
開発の	D相	Phase II	対象疾患名(PhaseⅢの場合)						
成分記号、一般名称、製品名			JNJ-53718678	治験依頼者	ヤンセンファーマ株式会社				
公開課	題名	以下の乳幼児を対象に	ial ウイルス(RS ウイルス)感染症に。 種々の用量の JNJ-53718678 の抗: 変力学的関連性を評価する第 2 相, こ	ウイルス活性, 踮	床アウトカム,安全性,忍	PRT No	53718	578RSV2002	
議事内	物容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	話れた。					
治験に関	治験に関する変更申請(書式 10)								
今回報	告された	内容について、治験の継	続には問題ないと評価された。		·				

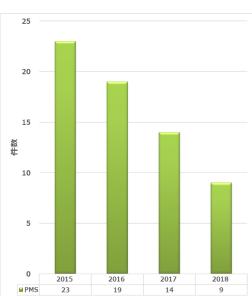
	CL	審議時間:3分					義結果	承認	
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	糖尿病性腎臓病					
成	成分記号、一般名称、製品名 RTA402 治験依頼者 協和発酵キリン株式会社								
公開語	題名	糖尿病性腎臓病患者を	た対象とした RTA 402(Bardoxolone methyl)の第Ⅲ相試験 PRT No. RTA402-006					2-006	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	話れた。					
安全性	安全性情報等(書式 16)								
有害事	家報告(こ基づき引き続き治験を乳	『施することの妥当性について審議を行	い、治験の継続は	は問題ないと評価された。	•			

CL	審議時間:3分							
開発の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	糖尿病性腎症					
成分記号、	一般名称、製品名	TA-7284	治験依頼者	田辺三菱製薬株式会社				
公開課題名	田辺三菱製薬による糖	尿病性腎症第3期(顕性腎症期)	患者を対象とした	TA-7284 の第Ⅲ相試験	PRT No.	TA-728	34-14	
議事内容	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。							
安全性情報等	(書式 16)							
有害事象報告	に基づき引き続き治験を乳	実施することの妥当性について審議を	行い、治験の継続に	には問題ないと評価された。				
治験実施状況	(継続審査)(書式 1	1)						
COI	開示すべき COI 関	系にある企業などはなく、COI 委員会	では治験の実施に	関して特に問題ないと評価され	た。			
実施状況	引き続き治験を実施	引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、、治験の継続には問題ないと評価された。						

	CL	審議時間:3分						承認	
開発	の相	Phase II	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	慢性腎臓病					
成	成分記号、一般名称、製品名 TCF-12 治験依頼者 帝人ファーマ株式会社								
公開語	顆組	格 帝人ファーマ株式会社の依頼による慢性腎臓病患者を対象とした TCF-12 の探索的試験 PF					TCF-12	2-201	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	适れた。					
治験に	治験に関する変更申請(書式 10)								
今回朝	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

1) 年度別 治験、PMS 新規導入件数





大同病院、だいどうクリニックで実施中の CentralIRB で審議された案件

依頼者	治験薬品名	Phase	対象	診療科	治験責任医師
アストラゼネカ	ZS	ш	高カリウム血症	腎臓内科	志水英明
アストラゼネカ	ダパグリフロジン	Ш	CKD	腎臓内科	志水英明
JT	JTZ951 (MBA4-2)	ш	腎性貧血	腎臓内科	志水英明
JT	JTZ951 (MBA4-3)	Ш	腎性貧血	腎臓内科	志水英明
JT	JTZ951 (MBA4-4)	ш	腎性貧血	腎臓内科	志水英明
JT	JTZ951 (MBA4-6)	Ш	腎性貧血	腎臓内科	志水英明
第一三共	CS-3150	ш	糖尿病性腎症	糖尿病内分泌内科	寺島康博
POXEL	Imeglimin (PXL008-018)	Ш	2型糖尿病	糖尿病内分泌内科	寺島康博
POXEL	Imeglimin (PXL008-020)	ш	2型糖尿病	糖尿病内分泌内科	寺島康博
興和	K877	IV	高コレステロール血症	糖尿病内分泌内科	寺島康博
ファイザー	PF-05208760	ш	肺炎球菌ワクチン	予防接種センター	浅井 雅美
大正	TS-152 (3000)	П/Ш	関節リウマチ	膠原病リウマチ内科	土師陽一郎
大正	TS-152 (3001)	П/Ш	関節リウマチ	膠原病リウマチ内科	土師陽一郎
ゼリア新薬	ZG-801	п	高カリウム血症	腎臓内科	志水英明